



核兵器のない平和で公正な世界を！

原水爆禁止世界大会
2020オンライン

8/1・2・6・9

■コロナ禍でのオンライン開催
延べ73人が参加、登録は45人

今年、戦後75年目を迎える節目の年でしたが、新型コロナウイルスの世界的流行を受けて世界大会をオンラインで開催しました。北海道代表团として参加する日程は、8月1日、2日、6日、9日の4日間。例年、原水爆禁止世界大会には業務や家庭の事情から、なかなか参加できない職員もいました。札幌病院では、オンライン開催をすることで多くの職員が世界大会に触れ、平和について考える機会にしたいと考え、4日間すべての日程に参加することにこだわらず、1日だけの参加や、自宅や職場からの視聴参加も呼びかけました。

院内の各職場でも積極的な議論をおこない、多い職場では8人も参加させるなど最終的に40人、他事業所からの参加も含めると45人が参加登録しました。また、4日間で延べ73人の職員が参加し、例年になく多くの職員が世界大会を通じて核兵器と平和について考える機会となりました。

例年代表派遣をしている札幌白石健康友の会では当初、原水爆禁止世界大会は開催しないとされていたことから代表登録しないことを決めていました。しかし、オンラインでの開催が決まったことから8月4日の事務局会議で参加を呼びかけました。

■核兵器禁止条約参加めざし
新たなうねりを



原水爆禁止世界大会では、沢山のラストピースの話の話を聞き、広島と長崎への原爆投下から75年経った現在でも多くの人が、いまだ苦しみと悲しみは癒えずにいます。また、核兵器を国際人道法の原則に反する兵器として開発から使用まで全面的に禁止する核兵器禁止条約に世界で唯一の被爆国、日本が批准していないことへ多くの参加者が疑問と憤りを感じました。

広島原爆の日」の6日、アイルランドなど3か国が核兵器禁止条約を批准、そして9日にセントクリストファー・ネービスが続いたことでその数は44となり、条約の発効まであと6か国となりました。参加者は、核兵器の廃絶、そして平和で公正な世界をつくることは過去のことではなく未来をつくること。子どもたちのために、未来をつくるのが大切だと感じました。そして、被爆国・日本が核兵器禁止条約を批准し、条約の発効をすすめることこそ未来をつくる大きな一歩だと感じ核兵器禁止条約参加めざし新たなうねりをつくる必要性を感じました。

■8・6「平和の波」札幌前に60人が参加

8月6日に世界各地でおこなわれた「平和の波」では、菊水にある民医連事業所の職員が札幌病院前に60人あつまりました。「平和の波」のロゴとメッセージが書かれたポスターを掲げた職員が東西に長く広がり、札幌病院から札幌歯科まで大きな波となつて通行中の人や車、来院した患者さんへ核兵器の廃絶と平和への願いをアピールしました。

参加者の感想より

・被爆者のない時代が来ても過去の問題ではなく、現在、未来の問題として取り組む必要がある。そのためにもすべての人々の参加が核のない世界を実現することが必要だということを改めて感じました。

・核兵器のない世界を求めていく活動は大切。関係のないとは思わず自分の子どものために活動することが重要だと思いました。未来のため声をあげて活動をつけよう。重要性を学びました。

▲平和の波「アピールの様子



▼8/9オンライン会場参加者



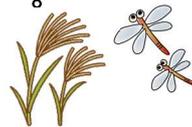
みなさんへのお願い

- ①身近な人に友の会員のお誘いをしましょう。
- ②「いつでも元気」を購読されていない方に購読をお勧めしましょう。見本誌がありますので、友の会事務所に連絡を下さい。お届けします。
- ③健康相談会などの開催も予定しています。気軽にご参加ください。

＜月間の主な取り組み＞

- ①このコロナ禍の中、外出を自粛したり、不安で気持ちもふさいだりしている友の会員や地域の皆さんに、「元気ですか？困っていることなどないですか？」と声をかけ、つながる取り組みをおこないます。
- ②仲間増やしの活動として、友の会員を増やし、友の会の活動に参加してもらいます。
- ③全国の友の会の活動が紹介され、健康に過ごすヒントや魅力的な記事がたくさん掲載されている「いつでも元気」の購読をお勧めします。
- ④「健康相談会」を開催し、新型コロナウイルスを正しく理解するための学習や、健康についての知識を広めます。

「友の会活動拡大強化月間」が9月1日からスタートします！
今年も、安心して住みつつけられるまちづくり、一緒に健康を守る仲間づくりを、二か月間にわたり全国的におこないます。
会員の皆さんの協力をお願いします。



友の会員の皆さんや地域の方々の感染予防に充分配慮しながら、取り組みを進めていきけるよう、また、皆さんの不安に寄り添いながら無理のない行動にしたいと思っています。よろしくお願いたします。



あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2020 9月号 380円

好評発売中

濁流にのまれた集落 熊本

災害とコロナ

けんこう教室 コロナ後の社会

戦後75年 いま、語らねば

カモシカ物語 福島・帰還困難地域の現状

食と健康 夏バテ知らずの食事

発行＝熊本保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657



健康と生活をつなげる情報満載!

お問い合わせ・お申込み 札幌白石健康友の会 ☎ 011-820-1263



健康相談会【聞こえの話】開催しました!

7/30日豊平の月寒会館で、約半年ぶりに健康相談会が開かれました。感染予防策をしっかりとおこないながら、19人が参加し、講師である看護師さんのお話をしっかりと聞いていました。難聴のしくみや程度、聞こえ方の特徴、難聴と認知症の関係、補聴器の機能についてや選び方などのお話がありました。

また参加者一人ひとりに補聴器の付け心地や聞こえを実感してもらうなどの体験もおこなわれました。

「聞こえ」の低下は不便だけではなく、コミュニケーションに支障をきたし、認知症の要因の一つとも言われています。にもかかわらず、補聴器が高額であることが主な理由で、欧米諸国と比較すると、普及していません。

補聴器の値段や公的補償制度の有無についての質問が多くありました。

全国的には『加齢性難聴者の補聴器購入公的補助制度』を実施している自治体があることが紹介され、参加した村越美香さんは「高齢になっても社会から孤立しないために聞こえは大切な問題。聞こえの衰え(難聴)が現れ補聴器が必要となった場合の、公的な補助制度を求める運動をぜひ進めましょう!」と呼びかけました。



お便り紹介

散歩中、珍客に出遭いました!!

私は仲間と一緒に、美と健康維持を目的に、週1回散歩をしています。

平岡の樹芸センターに集合し、四季折々の花や樹木を見て歩くのは、とても楽しいものです。

ある日のこと、庭園から松の囲いの広場へ向かった時、かわいい小鹿が顔を出しました!すぐに逃げてしまい、そのまま見失いました。翌週には親子の足跡を見つけ感動しました。母鹿は夜になると柵を飛び越えて入ってきて子育てをしていると、センターの方が話してくれました。

その後小鹿には逢えていません。コロナ禍ではありますが、みんなで元気に散歩は続けています。

ありがとうございました! 高橋 愛子さん(清田区)



久しぶりの行事を楽しみました! 介護相談も随時受け付けています

北白石在宅センター

勤医協高齢者住宅『花の里』では、今年はコロナの影響で行事はおろか食堂で皆が集まったの食事もおこなえていない状況でした。収束が見えないこともあり、食堂の各テーブルには窓付きの衝立を用意し、8月からやっとみんなそろって食堂での食事が再開されました。

そんな中、8月7日に久しぶりに施設内行事として七夕行事を行いました。参加した入居者さまは全部で17名。もちろん職員も含め全員マスク着用、食堂に来てから手洗い、消毒をおこなってもらっています。まずはみなさん思い思いに短冊に願い事を書いてもらい、その後、本当はみんなで合唱もしたかったのですが、七夕の歌をマスクの中での朗読をおこない、最後に住宅の横の小さな畑で取れたトマトを景品にじゃんけん大会を行いました。

皆さん久しぶりの行事に笑顔も沢山見られており、願い事の短冊には「早くコロナが治まって欲しい」「みんなが健康で暮らせるように」等の願い事が書かれていました。

まだまだ十分に予防策を張っていかなくてはならないと同時に、入居されている方々に、こんな時だからこそ楽しんでもらえるような行事をおこなっていきたくと思います。

また、北白石在宅総合センターでは訪問介護、定期巡回型訪問介護看護、(ヘルパー)、通所介護(デイサービス)、居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)、そして今回ご紹介させていただいた「花の里」のような、高齢者住宅の事業を運営しており、介護全般の相談ができる場所です。介護の事で困った、どうしようという事があればいつでもお気軽にご相談ください。



勤医協 北白石在宅総合センター

札幌市白石区米里1条4丁目6-10 ☎011-871-7721

どんなことをして過ごしていますか? 大募集!

以前のように出歩けない日々...長くなってきましたね。どんな日常を過ごしていますか? みなさんからの便りを、友の会ニュースで紹介します!

〈絵手紙〉〈川柳〉〈写真〉〈最近思うこと〉〈工夫したこと〉〈新しく始めたこと〉〈おすすめレシピ〉 などなど。どんなことでもO.K.です。お待ちしております!

★9月のサークル活動★

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎつつ社会生活を再開する動きが広まる中、会員の健康を守り、交流の場となる友の会の行事を何とか開催できないかと考えています。

一斉での再開はまだ難しいため、サークル担当者やそれぞれの行事責任者、運営委員と相談をしながら、開催のための基準作りと時期を検討し、できることから順次始めていきます。

当面、カラオケサークルは市内外で感染者が多数出たことから、再開はできません。

その他の行事については、開催の準備が整ったところから、これまでの参加者の方に連絡をいたします。ですので、よろしくお願ひします。

新規での参加ご希望やその他行事についての問い合わせは、友の会事務局までお願ひします。

10月以降の定例および臨時行事の開催については、友の会ニュース10月号などでご案内します。

